

新宿区 NPO 活動団体登録票

申請年月日 平成 23 年 8 月 3 日 (最終更新日: 令和 6 年 7 月 1 日) No. 1 1 1

<p>法人名 代表者名 設立年月</p>	<p>特定非営利活動法人 ぷれいす東京 生島 嗣(イクシマ ムスル) 平成 12 年 10 月 10 日</p>
<p>主たる事務所</p>	<p>〒169-0075 新宿区高田馬場 4-11-5 三幸ハイツ 403 電話: 03(3361)8964 FAX: 03(3361)8835 E-mail: office@ptokyo.org URL: http://www.ptokyo.org/</p>
<p>目的 (定款の目的)</p>	<p>この法人は、HIV (ヒト免疫不全ウイルス) 感染やその他の性感染についての相談や啓発教育および HIV に感染した人たちへの直接的支援サービスを、地域住民による地域に根ざした活動として実施し、国籍や性別、性的指向などに関わらず、どんな疾患や障害をもっても自分らしく暮らせる地域社会づくりの実践と研究による提言を行い、人権の擁護、健康教育、福祉の増進に寄与することを目的とする。</p>
<p>現在主に行っている活動状況</p>	<p>HIV/エイズとともに生きる人たちがありのままに生きられる環境 (コミュニティ) を創り出すことをめざしています。 CBO(Community Based Organization)として、「直接支援」「啓発・予防」「研究・研修」を活動の柱とし、そこから得られた成果やノウハウなどを「情報発信」し、コミュニティに還元しています。</p> <p>① 直接支援 HIV 陽性者とその周囲の人のための相談サービスとプログラム運営、バディ派遣</p> <p>② 啓発・予防 感染不安のための電話相談、ゲイ向け・性の健康に関する啓発プログラム、資材制作</p> <p>③ 研究・研修 調査研究、研修企画・運営、講師派遣</p> <p>④ 情報発信 ニュースレター、冊子、報告書、Web サイト制作</p>
<p>新宿区民を対象とした活動状況 (予定も含む)</p>	<p>新宿区民をはじめとする一般市民を広くボランティアとして迎え入れ、ともに活動しています。 啓発イベントやセミナーなどを新宿区内等で不定期に一般市民向けに開催しているほか、区内に拠点を置く行政・民間団体、コミュニティセンターや病院などと定期的に情報交換や協働した活動を行っています。</p>
<p>活動地域</p>	<p>新宿区高田馬場 (事務局)、他</p>
<p>活動頻度</p>	<p>事務局: 月~土 12時~19時 その他行事: 随時</p>

新宿区 NPO 活動団体登録票

事業費	令和5年度 総事業費 (61,100,995 円) ① 特定非営利活動費 (61,100,995 円) ② ②/① = (100) %
事業年度及びその他の事業の有無	4月1日～3月31日まで その他の事業 有 (無)
所轄庁への届出書提出状況	令和5年度 東京都へ提出
活動分野	1, 2, 3, 10, 11, 12, 13, 19
運営状況	① 会費 個人：1,000 円以上/一口 法人：20,000 円以上/一口 ② 会員の内容及び会員数 正会員数 60 人 (令和6年3月末現在) 活動会員数 190 人 (") 賛助会員数 55 人、7 団体 (") ③ スタッフの構成 専従 2 人、パート 7 人、ボランティア 242 人 (令和6年3月末現在) ④ 意思決定の方法 事務局会議(毎月2回)、運営委員会 (毎月1回) 理事会 (随時)
これからの課題 これからの課題	新規に HIV 陽性と報告される人の数は年々増え続けています。発症を抑える治療は可能になりましたが、差別・偏見があるため、社会的孤立を余儀なくされる現状は変わっていません。地域で生活する HIV 陽性者とそのパートナーや家族への支援サービスの提供、当事者参加型の啓発・予防など、私たちの活動へのニーズは増加しています。地域住民が国際化し、支援ニーズも多様化していますが、そのニーズに対応するための資源が不足しています。

NPO から区民の方への PR

ふれいす東京は HIV/エイズとともに生きる人たちがありのままに生きられる地域づくりをめざし、HIV 陽性者や周囲の人の支援、感染不安に関する電話相談、啓発・予防活動、研究・研修などを行っています。毎年9月のボランティア研修を経て、200人余りのボランティアが自分にできることを見つけて活動に参加しています。

また、随時寄付や個人・団体の賛助会員を、継続して認定サポーターを募集しています。ぜひ私たちの HIV/エイズに関する地域活動を応援してください。